教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」

志　学校だより

R3 .6 .3

四日市市立内部中学校　第９号

なぜ僕らは働くのか

昨年度の『学校通信 第４２号』で、タイトルと同じ表題の本を紹介しました。サブタイトルは**「君が幸せになるために考えてほしい大切なこと」**で、将来の働き方について中学生に考えてもらおうと願って作られた本です。**「仕事ってなんだ？」「どうやって働く？どうやって生きる？」「好きを仕事に？仕事を好きに？」「幸せに働くってどういうこと？」「大人も知らない未来の“働く”」「いま あなたたちに伝えたいこと」**の６章で構成され、わかりやすく書かれています。

５月２５日（水）２６日（木）２７日（金）の３日間、２年生の生徒たちが「職場体験学習」に取り組みました。この学習は「キャリア教育」の一環です。「キャリア教育」とは、進学先やどのような職業に就くかだけについて学ぶものではなく、社会や他者とどのように関わり、『夢』や『志』を持って自分らしく生きていくかについて考える大切な時間です。でもまずは、社会にはどのような職業があるかを知ることが大切です。そこで「職業講話」で様々な職種の方のお話を聴いたり、今回の「職場体験学習」では、各事業所等で実際に仕事を体験して、その「やりがい」や「苦労や大変さ」等を感じ取ったりして、視野を広げられるようにしています。

どのような体験をしたかは、各事業所によって違います。仕事の内容や様々な大切な情報について説明や講義を受けてから仕事の体験に入るところがあれば、最初から実際の業務に取りかかる事業所もありました。生徒たちは緊張しながらも、各担当の方のお話をしっかりと聞いていました。働くためには、何をどのようにするかをちゃんと把握することが必要です。生徒たちは、これまで授業等の中で身に付けた言語能力を駆使して、説明を理解したり、わからないことは質問したりしていました。事業所の方の意図やお客様の気持ちを感じ取ることも必要です。**コミュニケーション能力を高めることは、社会で働く上でとても重要な事です。**

また、実際に働くためには、身体をしっかりと動かすことも必要です。これまでご家庭で大切に育てていただき、保健体育や部活動を通して身に付けた「体力」が生かされていました。巡回した先生方から、「てきぱきと働いている姿を見て感心した」との声も多く聞かれました。

３日間の職業体験は、緊張や疲れも多かったことと思います。また、学校で過ごしているのとは、全く違う時間の流れを感じた生徒も多いことと思います。でもそれ以上に、多くのことを学び、体験することができたことでしょう。働くことについての意識も変化したことと思います。それらのことを、これから学校生活や社会での生活に生かしていけると良いです。

事業所を巡回した際に「一生懸命頑張ってくれています」とお誉めの言葉をいただくことが多かったです。**生徒たちがお世話になった各事業所のみなさんに、心より感謝いたします。**

以下に、生徒たちの感想を紹介します。

・接客の仕事を体験して、相手の方を意識して「話すこと」が大切だと気づきました。

・洗い場の仕事を担当して、毎日洗い物をしてくれている親は大変だと思いました。

・フライパンの使い方が上手くなりました。調理するのは熱くてひからびそうでした。

・体験先では、あいさつの仕方やお客さんへの対応の仕方などを教えてもらいました。

・職場体験の３日間はとても楽しくすごせました。色んなことも学べて良かったです。

・最初は不安だったけど小学生が話しかけてきてくれてほっとしました。楽しかったです。

・職場体験はとても疲れました。思っていたより色々なことを体験できて楽しかったです。